



# サフラン便り

第37号 21年2月15日発行

発行:佐賀県薬剤師会女性薬部会  
佐賀市本庄町大字本庄 1269-1  
TEL:0952-23-8931  
FAX:0952-23-8941  
<http://www8.ocn.ne.jp/saffron/>

## 日本女性薬剤師会 会長会 一般社団法人設立記念祝賀会 報告

日時:平成21年2月8日(日) 10時30分~16時00分

場所:東京ベイコート倶楽部

### <会長会報告>

#### 開催に当たって(近藤由利子会長挨拶)

12月1日より法の改正により、自動的に諸般の手続きを終えて有限責任中間法人日本女性薬剤師会から一般社団法人となり益々責任が重くなった。薬剤師人口の6割強を占める有資格者の女性薬剤師の行動力の展開が薬剤師職能理解にも大きく影響する事になると考える。日女は設立目的に基づき、学術振興による女性薬剤師の資質並びに地位向上を計り、さらに男女共同参画事業の推進・市民公開講座の開催などを通して地域社会への貢献に努めることが益々大切となる。また常に女性の目線で情報収集に努め問題点を的確に捉え、組織間での情報交換など各人が協力しあい其々を具体的に社会に還元する事を考えて女性薬剤師の存在意義に答えていかなければならないと考える。日病薬、大学、薬剤師会と協同で国民に顔の見える薬剤師として其々が役割を担い活動していくことは言うまでもない。



#### 21年度事業計画の主なもの

継続事業:全国研修会・診療ガイドライン・都道府県女性薬ブロック研修会・移動セミナー・国際交流の推進

新規事業提案:企業家支援・薬学生実務指導(法律相談、経理財務相談、薬剤疫学調査)

文部科学省補助金事業(北里大学と日女の共同事業で成人期薬学生とシニア薬剤師の加算マッチメイクーション)

### <祝賀会報告> 来賓の方々

- ・厚生労働省大臣官房審議官(医薬担当) 岸田修一様 ・内閣府男女共同参画局 局長 板東久美子様
- ・(社)日本薬剤師会副会長 生出泉太郎様 ・日本薬剤師連盟 幹事長 小田利郎様
- ・(社)日本病院薬剤師会会長 堀内龍也様 ・(社)日本女医会副会長昭和大学客員教授 松井ひろみ様
- ・(学)北里大学薬学部臨床薬学研究センター教授 小宮山貴子様・弥生会(女性経営者研究会)藤田幸恵様

多くの方々のご臨席を仰ぎ、盛大に祝賀会が行われました。会長挨拶では、日本女性薬剤師会が女性の目線での問題点や事業展開をこれからも続けていくのに、日薬・日病薬との協調が必要と言われました。また、「個人の努力、組織の力、住民の理解」を念頭におきこれからも継続した活動を展開していくことを示されました。特に選挙協力は女性のネットワークでもって、今までの経緯からしても力を入れていかなければならないと言われました。松本純内閣副官房長官もご多忙中、お顔をみせられてご挨拶されました。(宮地)

### ちょっと一言(女性薬理事編)

日本女性薬剤師会のユニークな活動。

昨年10月臨床薬剤師発祥地であるケンタッキー大学薬学部へ全国から約20名視察。レフィル処方薬の増減や町の薬局での予防接種、フィジカル検査。医療経済教育と社会へのPRなど日なたの部分と調剤、投薬までテクニシャンが行いミスも多い日陰の部分。一包化などきめ細かい患者志向の投薬は日本が誇れるところと認識新たに。

眠っている有能な薬剤師の発掘と資質UPをめざすリカレント教育がすでに文科省、北里大学、日女共同で稼働始めた。学生と一緒に受講はすでに稼働。Web配信による無料講義システムを構築中。以上のことを念頭におき、さらなる女性薬剤師の活躍を願ってやみません。(鳥栖三養基 徳淵昭代)

今年度から女性薬部会に参加させて戴いています。何度か参加するうちに何となく部会の様子がわかってきたような感じです。この一年、県薬の先生方、他県の先生方など、お会いする機会が増え、楽しくもあり、奮起させられます。このつながりの輪を広げながら向上心を持って、楽しく、魅力ある活動を進めていけるよう取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお祈りします。(佐賀 福島あさ子)



新年が明け、新しい気持ちで仕事に取り掛かろうと思っていたのに、身の回りに気がめいる事ばかり起きて意気消沈です。毎年恒例で日の出を拝んでいたのに、今年は雪で見られなかったので・・・まあ、関係ないと思いますが。世間は、失業、不況と暗いニュースばかりですが、こういう時こそ女性の強さをアピールできるのではないのでしょうか。薬局に来られる患者様も病気に負けず、年に負けずお元気です。私も元気をもらって頑張らなきゃ。

女性薬も一緒に頑張らしましょう。

(鹿島藤津 池田 知子)

昨年は、義父の聞き取り調査・移動セミナーなどいろんな事があり、貴重な一年間でした。その中で自分のやりたいう事をする為に時間のやりくりをして、充実していた様に思います。これからは次の目標が見つかるまで、三年間必要なかったテレビでも観ながら、ちょっと肩の力を抜いて過ごそうかなと思っています。苦手な家事と戦い、毎日毎日同じことの繰り返しですが、健康が一番大事、ですね！これからも宜しくお願い致します。(神崎 宇野由紀子)

高齢者が2025年まで増え続け医療費削減が叫ばれる中、私たち町の薬局の薬剤師は何をすればいいの・・・？信頼のおける薬剤師がいて気軽に相談できる確かな処置、予防する方法、薬の正しい飲み方、副作用の回避、病院への紹介等々の地域においての「かかりつけ薬局」の信頼される薬剤師になることかな・・・と思い、今いろいろ思考錯誤のなかで勉強しています。

今年も女性薬部会の活動の中から1つでも2つでも自分のプラスになることを

吸収できたらと思っています。どうぞよろしくお願い致します。(佐賀 田中須磨代)



昨年、移動セミナーを終えたときの感動が序々にうすれ、パンデミック情報の恐怖におののきつつも、嘔吐下痢と風邪症状に対する見慣れた処方、たまに来るインフルエンザA型の処方に何となく日々を過ごしていた今日この頃。女性薬委員会に参加して、このパワーはいったいどこから来るのだろうと、皆様のパワフルさに圧倒され、これじゃいけないと反省しきり。来年度も盛りだくさんの予定の提示を見せてもらって、お手伝いできればと気力を充填中。何より、女性薬委員会のパワーを少しでも伝えられるよう活動して行きたいとおもっています。(唐津 杉岡祐子)

最近迄、出来ていた事が出来ない。気持ちだけ先走りして、思うように身体が動かせない。朝起きて、身体のおちこちが痛い。こんな日常の悩みや、不安を抱えた患者さんの、心の病の調剤も出来る薬剤師でありたい。専門用語を並べる事より、100%患者さんに、理解してもらいお薬を安心して服用して頂ける為の説明、指導を行う事。

私の、今後の課題です。

(武雄杵島 江口しずか)

今年に入って、インフルエンザや風邪の患者さまが増えてきました。お話をしていると風邪がうつってしまいそうですが、「私が元気でないと患者さまにも元気になってもらえない！」と思って、手洗い・うがいをして、風邪をひかずに頑張っています。今年は女薬での活動が2年目になるので、まずは健康第一で、より幅広く前に進んで行きたいと思っています。(多久小城 鶴田恵子)

卒後一度も薬を扱った事のない女性薬剤師がいます。3人の子供に恵まれ自営の夫の手伝いをし、何の不自由のない暮らしがありました。そこにこの薬剤師不足でパートの声がかかりました。その時、「今、薬の仕事をしてなければ一生しないかもしれない」と思い、お誕生日の子供を預けて働き始めました。まだ、服薬指導の見習い中です。薬が面白いと思いはじめたと言います。そんな仲間をこれからも女性薬部会は応援していきたいと思っています。(宮地和子)

春が近い今日このごろ、院外処方をやめる動きがあるという記事を見つけました。

薬剤師は患者さんのために勉強し努力しています。女性薬剤師は家庭との両立に

日々奮闘しています。それを思うとなんだか虚しく感じてきました。(伊万里有田 古荘祐子)

今日の帰り際、フッ素の容器を下ろそうとして大失敗。脚立を利用しなかったばかりに、下の水剤台にある水計がこっぴみじん。ここで落ち込まぬのが「コツ」。「物」は必ず壊れるもの。怪我せんで良かった。さて、今年は急がば回れで、一つ一つを更に大切に取組もうかと思っている。

昨年、色々の体験をさせて頂いたが、その後にそれが確かに繋がっていると確信した。私はいい人達に恵まれたと感謝いっぱいです。

(佐賀 島田智子)

薬剤師会史誌のためのインタビュー原稿を校正する任務を仰せつかり、全ての原稿を会員の皆様より早く読ませていただきました。担当の先生には、二時間近いインタビューを、2000字にまとめていただき、メールで送っていただきました。今回、話者の多くは80代の先生方々でしたが、どの方も戦争のことを語っておられました。お一人おひとり、その方にとっての戦争体験で、校正をするためというより、毎晩、今日はどんなお話を読ませてもらうのかと、本を開くような思いで、パソコンの電源を入れていました。

(北島悦子)

